

私は旭川で生まれて高校生まで過ごしました。中学生の時に恒例であった映画鑑賞で、三船敏郎と石原裕次郎主演の「黒部の太陽」と出逢い、その当時坊主頭の少年だった私に大きな衝撃を与えました。思い返せばその感動がのちの人生を左右する出来事であったと思います。在京の大学では土木科に進み、旭川の建設会社に就職して10数年過ぎたころ、技術士に二度目の憧れが芽生え始めました。

札幌の設計会社である当社に再就職して、技術士補は直に合格したのですが、二次試験は筆記試験での不合格の連続でした。などもなんども心が折れましたが、なんとか合格に漕ぎつけることができ、口頭試験の待機用のパイプ椅子に座っている時の幸せ感は今でも鮮明に覚えています。

合格発表の数日後に東日本大震災が起こり、大自然の恐ろしさを感じ、被災に遭われた方々の心情を技術士となった自分に自問自答を繰り返しました。今年の6月に会社の若手ホープ達と一緒に東北震災視察研修に行く予定です。技術士の「責務」を自分なりに考え、今後の責任ある活動に繋げたいと思います。減災は難しい課題が多いですが、自然と共存を図りながら安全・安心をどう構築するのか、憧れから土木の道に入った初心を今度は責務としてなにか出来るか考えて行きたいとおもいます。

最後に、資格取得までに先輩技術士の皆様にお世話になった事を、心からお礼を申し上げたいと思います。

清水 秀俊 (しみず ひでとし)

●建設部門(道路)

勤務先

ダイシン設計株式会社
e-mail : h-shimizu@dacc.co.jp



→次号は、菅原瑞生さん(建設部門)

エンジョイ・サイエンス研究委員会の前身であるリージョナルステート研究会自然科学教育分科会に入会したのが平成15年なので、当研究会での活動も10年が過ぎました。

当研究会は、子ども達に自然や環境の大切さを理解してもらい、上手に活用していく心を育てることと、自然科学・科学技術のおもしろさや大切さを教え、地域産業の活性化を促進する技術者となる人材の芽を育てることを目的に活動しています。

学校や会館での出前授業が主な活動になりますが、これまでに札幌市内の小中学校や高校、寿都町教育委員会主催の科学教室、清田区主催のシニアスクール、北広島児童センターなどで講師あるいはサポーターとして活動してきました。

出前授業の予定が決まると、平日の退社後や休日に時間を割いて準備に取りかかります。HPや雑誌には実験装置の作り方がいとも簡単に書かれていますが、実際に挑んでみるとそれほど平穏な道程ではありません。完成品ができあがるまでは、連日試行錯誤の繰り返しで大変苦勞します。しかし、当日の授業が盛り上がり笑顔の子ども達を見ると、それまでの苦勞が報われますし、自身のなかにも心地よい達成感を感じることが出来ます。

今年度から、世代交代のために板谷技術士に代表を交代しましたが、これからも一会員として活動に携わっていきたいと思います。今年も4名の新技術士やベテラン技術士の方が当会に入会しましたので、斬新な企画やアイデアが益々期待できそうです。エンジョイ・サイエンス研究委員会に興味がある方は一緒に活動しませんか。まずはHPで活動内容のご確認を。<http://pe-hokkaido.sakura.ne.jp/>

対馬 一男 (つしま かずお)

●建設部門(土質及び基礎)
●総合技術監理部門

勤務先

北武コンサルタント株式会社
k-tsushima@hokubu-c.co.jp



→次号は、細川順治さん(建設部門)